

(し ろ が ね)

分校だより

【第4号】平成26年12月24日発行

<群馬県立渡良瀬養護学校しろがね分校通信>

<http://www.watayo-ses.gsn.ed.jp/sirogane>



「第17回しろがね祭」

〇わっしょい市(児童・生徒の販売活動)の様子

・小学部 「はじめてのしろがね祭」 小学部6年 狩野瑞貴

しょうがくぶやで「リースはいかがですか。150円ですよ。」といったら、お客さんがきてくれました。うれしかったです。

トトロもこえかけをして買いにきてくれたけれども、2こもおとしてしまいました。「しっぱいしたなあー。」と思いました。

ステージ発表では、RPGをうたいました。ソロのところは、はずかしかったけれどがんばりました。

はじめてのしろがね祭はたのしかったです。

・中学部 中学部教諭 尾高広蔵

「いらっしやいませ」「いかがですか」と生徒たちの声が響き渡りました。多くのお客さんが来ても練習どおりに計算表を使って会計をすることができました。慣れてくると「おいしい大根ですよ」「クリスマスの飾りにどうですか」と自分なりの声かけができるようになりました。活気あるわっしょい市になりました。

・高等部 高等部教諭 鈴木純雄

高等部のわっしょい市では、各作業班ともにたくさんのお客さんの新作が並び、生徒の「いらっしやいませ」「ありがとうございました」の大きな声がサロンいっばいに響き渡っていました。どれにしようか迷われているお客様があちらこちらに見られ、賑やかで活気のある市になりました。



○地域との交流がたくさんありました！



6日（土）の午前中には、伊勢崎市立第三中学校のギターマンドリンクラブの生徒の皆さんの演奏を聞きました。『タッチ』、『アムール河のさざ波』、『クリスマスソングメドレー』の演奏などがあり、まるで音楽会に招待されたようでした。

続いて、西大室八木節会の皆さんの八木節演奏がありました。途中、みんなで大きな円を作って八木節の演奏に合わせて一緒に踊る場面がありました。手を上下左右に振ったり、手拍子をしたりして楽しい時間を過ごすことができました。閉会行事では、伊勢崎商業高校の吹奏楽部によるすばらしい演奏がありました。本校の『校歌』、『銀河鉄道999』などの演奏にだんだんと会場の雰囲気も盛り上がっていきました。印象的だったのは、世間で



子どもたちに大人気の妖怪ウォッチの『妖怪体操第一』の演奏が始まると、体が自然と動き出すようにして元気一杯に踊る子どもたちの姿でした。



「藤岡北高校との交流会～高等部との交流～」

今年度は9月30日と11月20日の2回の交流が行われました。午前中は各作業班に入り、一緒に仕事を経験してもらいました。藤北生は本校の生徒の作業に取り組む姿勢に感心し、それに負けじと積極的に関わっていたように思います。午後の交流では、1回目は美術や音楽の授業を通して交流し、2回目は全体でスマイルボウリング大会を行い楽しみました。交流の様子をみると、一緒に学んだり楽しんだりしようという意識を感じることができ、交流を続けてきた成果が表われているのではないかと思います。今後も継続して交流ができるとよいと思います。

「総合避難訓練」

11月13日、しろがね分校としろがね学園合同の総合避難訓練が行われました。当日は学園厨房からの火災発生を想定して避難訓練が行われました。通報訓練、ならびに学校、学園職員、生徒有志による消化器、消火栓訓練も行われ、前橋南消防署城南分署の方々の指導のもと、東大室地区の自治会の方々にも参加していただきました。訓練終了後には、救急車や消防車の見学をし、児童生徒たちも有意義な時間を過ごしました。



